

# 栃尾タイムス

第1853号 平成26年12月5日(金曜日) 2014年

## とちお祭り花火打ち上げ反省会 長岡大学・今瀬ゼミ協力に感謝

栃尾煙火協会(松生貞雄会長)は、第60回とちお祭大花火大会の

決算が出たことを受け、11月25日、谷内・福田屋において反省会を開



松生貞雄会長が花火打ち上げの感謝を述べる

いた。開会にあたり松生会長は「本当に厳しい中でしたが、皆さんからご協力を沢山頂き、素晴らしい花火を上げる事が出来ました」と感謝を述べるとともに「今回は長岡大学から今瀬先生はじめ学生の皆様から多大なご協力を頂きました。先生は勉強させて頂いた」と話されましたが、現場を見る中で、今後も大きな新しい力を我々の中に加えて頂き、より素晴らしい花火が毎年上げられるよう、力添えを頂きたいと思いません」とお礼を述べた。

井田事務局長が「今年は今瀬ゼミの方々から裏方として、祭り全般にわたってお手伝い頂き、特に花火については上げるところの裏方までヘルメットをかぶってやって頂き、本当に有難うございました」と経過報告とお礼を述べ、「FMながお」の実況中継について、次年度も継続して実施していく方針を確認した。

また最近、近郷花火会場の視察が出来なかつたことから、来年度はとちお祭の前に実施することを決め、事務局に一任。栃尾煙火協会として、来年2月7日に実施する『第30回遊雪まつり』前夜祭の花火大会に4万円を拠出することを決めた。

最後に、とちお祭り花火大会に協力された長岡大学の今瀬政司准教授が「先日上越市であった内閣府の講演において、とちお祭のお手伝いのことを紹介させて頂きました。学生達の最初の企画が、長岡とか市外から栃尾に誘客したい」というところから始まった訳ですので、少しづつでも栃尾のことを色んな方に知って頂くお手伝いを今後も続けて行ければと思っております」と述べ、ホームページも立ち上げ、12月6日ニューオータニ長岡NCホール(開会午後1時)で成果発表を行なうためのプレゼン資料を作っていること等を報告した。